

もったいないをありがとう。 フードドライブで食品ロスを減らそう!

家庭で使い切れない食品を集めて、
福祉施設、生活困窮者の支援団体、こども食堂など
食品を必要としている人や団体に寄付する活動がフードドライブです。
まだ食べられるのに捨てられてしまう「食品ロス」の削減につながります。

「もったいない」

家庭で使い切れない食品を



集めて



すっきりんごちゃん

食品を必要としている人へ



フードドライブ
実施情報はこちら!



常時食品を受け付けているところもあります!

● フードドライブで食品を寄付される方へ

1. 買いすぎてしまった食品、もらったけど余っている食品などをお持ちください。
2. 集める食品には条件があります!
個別の実施情報を十分にご確認ください。
(例) 乾麺、乾物、缶詰、レトルト食品、お菓子、調味料など。ただし、下記のいずれも満たすもの。
 - ・賞味期限まで1か月以上あるもの
 - ・常温保存できるもの
 - ・未開封で、包装が破損していないもの
 - ・日本語で表記されているもの
3. 寄付活動ですので、思いやりを持って、大切に取扱ってください。
※企業や農家からの食品の寄付はフードバンクを活用ください。

フードバンクとは ▶



フードドライブを 開催してみたい方へ

県では、フードドライブを開催
してみたい企業・団体等の支援
を行っています!



ごきげんブラザーズ

そもそも食品ロスってなに？

食品ロスとは、食べられるのに捨てられてしまうものです。

家庭で発生している食品ロスは、

- ・手付かず食品
- ・食べ残し
- ・過剰除去 ※皮の剥き過ぎなど



食品ロスの現状

1人1日あたり、おにぎり1個が捨てられている計算になるんだ！

Q 日本の食品ロスは年間何万トンでしょうか？

- ①約100万トン ②約300万トン ③約500万トン

A 答えはこちら。
調べてみよう！ →



富山県では「手付かず食品が多い」

家庭から排出される食品ロスの内訳は、未使用・未開封の「手付かず食品」が食べ残しよりも多くなっています。

どうして手付かず食品が出てしまう？

(アンケート結果より)

- ・購入したことを忘れてしまい、期限切れになる。
- ・人からもらったが、食べなかった。 など

食品ロスの問題点

自然を壊す

食べ物を作り、運び、保管するためには、多くの水やエネルギーを使います。資源のむだ使いは、環境破壊につながります。



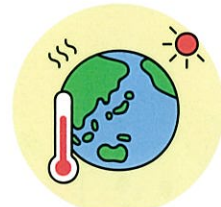
捨てるのはもったいない

世界には食べ物が足りなくて困っている人がたくさんいます。



地球温暖化

ごみとして燃やすとき、燃料が使われて二酸化炭素が発生します。



食品ロスを減らすには？

買 いすぎない

必要な物を、必要な時に、必要な量だけ購入しましょう

- 買い物前に冷蔵庫チェック
- 買い物のときは、「手前どり」



使い切れないときや
食べきれないときは

使 い切る

買った食材は工夫して保存・調理し、うまく使いきりましょう

- 使いきり3015運動
毎月30日と15日に冷蔵庫をチェック
- サルベージ・パーティ
家庭で持て余している食品を持ち寄ってみんなで調理、日々の料理で実践



食 べきる

計画的に食品や料理を食べきりましょう

- 外食では 食べきれる量を注文
- 食べきり3015運動
食事会、宴会の開始30分と終わり15分は食事を楽しむ



＼食品ロス削減の取組みを発信しています／

フードドライブで有効活用しよう!!

とやま 食ロス 検索
<https://foodlosszero.jp/>

